



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町総務課 ☎52-1111 発行11月20日 No.251

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ:鳥 ホオジロ:木 イチョウ



町の守りはまかせて

冬場を前に防災訓練

火災の発生しやすい冬場を間近に控え、町消防団(中村修一団長以下150名)は11月11日、火災防ぎょ訓練を実施しました。

稗田公園で火災が発生したとの想定のもとに、午後2時、119番通報と同時に各部が現場に急行、機敏な消火活動を披露しました。

平成2年
/11月号

町政功労者など10名1団体を表彰

平成2年度表彰式

11月3日に開催



本町の発展に貢献された方々や模範的な善行をされた方々を顕彰する、平成二年度の表彰式が「文化の日」の十一月三日、完成間もない役場新館大会議室で開かれ、功労賞で六名、善行賞で四名一団体が表彰されました。

表彰式には町三役をはじめ、町議会議員や教育委員、農業委員、地区公民館長、各民主団体役員など約百二十名が参列。まず全員で町民憲章を朗読した後、福永町長が式辞を述べ、続いて受賞者の功績紹介と表彰が行われました。

その後、下沖議長や瀬尾教育委員長、佐沢県議が次々に祝辞を述べられ、最後に受賞者を代表して豊丸武春氏（功労賞）が「栄ある賞をいただき大変光栄です。……本日のこの感激をひとつの契機として、町政発展のため微力ながら尽力したい」と謝辞を述べられました。受賞者の氏名及び功績は次のとおりです。

功労賞

(行政部門)



桑畑三夫氏 (72歳)

氏は、町長として三期十二年間にわたり町政を担当され、この間、三股西小学校的建設をはじめ各小中学校の改築、老人ホームや公民住宅、地区公民館の建設など数多くの事業に率先して取り組まれる



豊丸武春氏 (68歳)

(行政部門)

とともに、各分野にわたって卓越した行政手腕を発揮され、町政発展に多大の貢献をされました。

氏は、町助役として三期十二年間にわたり桑畑前町政を支えられたとともに、各分野においてすぐれた指導力を発揮され、町政発展に多大の貢献をされました。

(行政部門)



宮里至氏 (68歳)

氏は、町収入役として三期十二年間にわたり税金出納の適正な管理運営に尽力され、本町行財政の健全化に多大の貢献をされました。

(行政部門)



別府次夫氏 (74歳)

氏は、農業委員会委員として多年にわたり農業行政の推進に尽力されるところに、夢池土地改良区理事として土地改良事業の推進にも寄与され、本町農業の振興発展に多大の貢献をされました。

(社会部門)



田上良夫氏 (65歳)

氏は、第六地区公民館長として多年にわたり公民館の育成発展に尽力されるところに、公民館連絡協議会長としてもすぐれた指導力を発揮され、本町公民館制度の発展向上に多大の貢献をされました。

(行政部門)



大村清水氏 (61歳)

氏は、農業委員会委員として多年にわたり農業行政の推進に尽力され、この間、農政研究会副会長等の要職にあつて本町農業の振興発展に多大の貢献をされました。

公共施設の 美化に貢献



桑畑アツ氏 (69歳)

氏は、多年にわたって中央公民館と町立病院に自費で生花を飾られ、両施設の美化に大きく寄与されています。

善行賞

環境美化に貢献

山王原壮年金曜会

(会員十七名)

同団体は昭和五十七年に結成されて以来、沿道の空き缶拾いや花いっぱい運動など環境美化活動を積極的に展開され、明るく住みよいまちづくりに大きく貢献されています。

献血に協力



東政宜氏 (44歳)



桑畑古佐氏 (49歳)



川崎健一氏 (43歳)

三氏は、献血の重要性を深く認識され、多年にわたって献血事業に率先して協力されました。

農業後継者3名を ニュージールランドへ派遣

本町の「ふるさと創生事業」の三つの柱のうちの一つ、人材育成事業で農業後継者三名をニュージールランドに派遣することにしました。

これは近年、国際化や高度情報化が急テンポで進展するなかで、新しい時代を担う青少年や諸産業の後継者を国内外の先進地に派遣し、歴史や文化、産業などを見聞させるとともに国際的な視野と感覚を養い地域づくりの担い手として育成するものです。

派遣する農業後継者は、餅原の今村博美さん(25歳)と山元政治さん(35歳)、藪池の高野敏彦さん(26歳)で、いずれも大規模経営で意欲的に農業に取り組んでおり、地域のリーダーとして町の将来を担う若者です。三名は「自然をうまく活用した低生産コスト・輸出型のニュージールランド農業の現状を視る」と題して、来年一月から二月にかけて十六日間、実際に現地の農家にホームステイして農業を体験しながらニュージ



今村 博美さん(25)
(酪農経営)



高野 敏彦さん(26)
(酪農経営)



山元 政治さん(35)
(米・肉牛・露地野菜経営)

ふるさと創生・人材育成事業

がんの早期発見に威力 「腫瘍マーカー測定器」 を導入しました

町立病院だより



町立病院では検査機能を充実するため、このほど「腫瘍マーカー測定器」を導入しました。

この測定器は、胃がんやその他の消化器がんの検査のときにはCEA値を、肺がんのときにはCA19-9値を即座に測定するもの

際的感覚を備えた農業者の育成が図られ、本町農業が大きく前進するものと期待されています。

町立病院では検査機能を充実するため、このほど「腫瘍マーカー測定器」を導入しました。

この測定器は、胃がんやその他の消化器がんの検査のときにはCEA値を、肺がんのときにはCA19-9値を即座に測定するもの



全自動血液分析装置

健康管理のため、四十歳以上の方は定期的に「人間ドック」を受けられるようお勧めします。
※実費 七、二〇〇円
詳しくは町立病院医事係まで。
☎五二一―二一五五

町指定文化財

「榊山どんの墓」

榊山城主榊山(島津)資久の墓である。

榊山資久は、島津第四代忠宗の五男として生まれ、文保二年(一二二八)鎌倉幕府(北条高時)から日向の国榊山、石寺、島津、下河内を、その後、正平六年(二二三五)足利尊氏から荘内のうち、島津、榊山、早水、寺柱の諸領地をもらい、榊山に館を定め、連れしてきた人々を榊山の開墾にあたら



せた。本町開拓の先人として、町発展の基礎をなしたものである。榊山家記によると榊山地区に万福寺があり、榊山資久はここに葬られた記録があり、万福寺跡の石塔(五輪塔)が現在、中米満の福田家に残っている。

「蓼池かくれ念仏洞」

薩摩藩(第十六代貞久)に始まる中興の時期)は、一向宗(浄土真宗)を禁制とし、取り締まりを強化した。しかし、一向宗信者は後を絶たず、打ち首覚悟で地下洞などに隠れて阿弥陀如来を拝み、安心立命の境地を求めた。この地下洞もその一つである。

講とした。諸県地方における講の発生地であり、諸県一円最大のもので、蓼池の藤左衛門と榊山の三左衛門が組織したものである。力に屈せず、信仰の自由を守ってきた、この精神は現在の町民性につながってきている。



意見発表者記念撮影

子どもたちの声を聞く会

児童・生徒 8 名が意見発表

町教育委員会と青少年育成町民会議(永吉信夫会長)が主催する恒例の「子どもたちの声を聞く会」が、十一月三日、役場新館大会議室で開かれました。

今年の開く会には、町三役や教育長をはじめ関係機関、団体などから約百二十名が出席。それぞれ各小中学校の代表児童・生徒八名が日ごろ考えていることを切実に訴え、参加者は深い感銘を受けていました。

なお、子どもたちの声を発表順に、今月号と一月号の二回に分けて紹介します。(次ページに続く。)

こんな人になりたい



三股小6年 山村 沙也香

ある日、突然、父に「わたし船員になりたいんだよ。」と言ったら、父が「おまえは、船員になりたいのかね。まあがんばりなさい。非常に重労働だよ。」と言いまし

私の父は丸高汽船の船員で家庭にいる時よりも乗船して、航海している場合が非常に多いのです。父が乗船している丸高汽船は、大量の木材を積み込み、日本国内はもちろんで、世界各国にも運搬するのだそうです。これまでに、台湾やアメリカ合衆国・カナダ・シンガポール、それに今問題になっているイラン、イラクなどにも運搬したということでした。父の話によると、ほとんどの国の主要な港に香港し、目的の国に運搬するので世界一周をしたことになるというのでした。

汽船の上での父の仕事は、私が想像したことよりもとても重労働のようです。先ず第一に、汽船を

運転しているので、二十四時間間の時間もなく、目的の港に大切な荷物を運ぶために、慎重に船を動かすことです。

次に、父の一日のスケジュールは、朝六時に起床し、夜の十二時まで勤務するという、夜も毎日の連続です。このようなことを父から聞いて、私は、びっくりしました。

青々とした大海原と広い大空の下を走る丸高汽船。そして、各国の人々の様子がわかるという、父の仕事に、みりよく感じました。重労働であっても、船員になりたい。この目標を実現させたいと思うようになり、船員になりたいという私の目標を達成するには、多くの努力が必要であるので、努力を積み重ねて、しっかりとがんばらなくてははいけません。

そこで、今、私にとって、大切なことを考えてみました。第一に、海のことをよくわくわく知ることが大切だと思います。次に、汽船のことをすみからすみまで知りつくさなければなりません。また、忘れてはならない、一つに天候があります。空を見ているだけで、その日の天候がわかれないと、いつ台風が来るのか、いつ大波がおしよせて来るのか分かりません。つまり、天候を知ること、は、自分た

ちの身を守るために必要なのです。まだこの他にもいろいろな勉強をしなければ、いけないと思っています。

私が船員になる日までは相当な苦勞が待ち受けているでしょう。私の心の中にすんでいる「小さななまげ心」が楽な方へ楽な方へと私を導き、勉強などをさげさせようとしてくれます。しかし、私は自身「なまげ心」なんかには絶対に向けるべきではありません。私は父のような立派な船員になるのです。ただ一つ気がかりなことは、母や、私の将来の家庭をさびしがらせることです。母はよく「お父さんに早く会いたいね。お父さんの声をおきたいね。」とどこかさび

私はこんな

郷土にしたい



長田小6年 楠原 まどか

今、私たちの国日本は、ゴミでいっぱいになっています。今の日本のゴミの量は、一日に十万四千五百、一年間では東京ドーム百十五

しげに私に一人ごとでもいうかのように話しかけてきます。私にも母のさびしさがよく分かります。私だって、父に私の話をたくさん聞いてもらいたいし、運動会や参観日にも来てもらいたいのです。けれども、そんな父は私のそばにはいません。父も船の上で私たちと同じ気持ちで働いているのです。私も父に負けてはいられません。父に喜んでもらうためには、今やるべきことはしっかりとやりとげ、くいの残らない人生を送りたいと思います。私のなまげ心を追いはらい、私の願いをかえてくれる、父の「丸高汽船」と父の仕事への情熱に私は感しやしてがんばっていきつくりです。

はいにもなるそうです。私たちが住んでいる三股町でもたくさんゴミが捨てられています。三股町には、たくさん緑がありますが、このままゴミをふやすと、緑は少しずつ減つていってしまう。三股町だけではなく、日本、世界が緑をなくすことになるのです。そういうことになる原因は、人間が物を大切に扱っていかなくなったり、使い捨ての物をたくさん使うからです。今、私たちは紙・かん・シャンプーや洗剤のプラス

将来の夢



楓山小6年 大久保 誉子

「おはようございます。今度、この学校の先生になりました大久保誉子です。出身は三股町の楓山さんというところです。今日からみなさんと勉強や運動をしたり楽しく遊んだりしたいと思います。」

私のお願ひです。私の十年五月後の、ある学校での自己紹介です。そうです、これが私の将来の夢なのです。先日、先生から十一月三日に三股町の子供の声を聞く会があります。それにあなたをすいませんするの、何か原稿をまとめたさいといわれ、この「将来の夢」を選びました。私の夢は先生になることです。小さいころには、ステューデスや看護婦さんにあがれ、そのまねごとなどして遊んだりしまし

と、今、私は、学校の先生になりたいという気持ちでいっぱいです。「先生になりたい」そう思うようになったのは三年のころです。三年生になった始業式の日、受け持ちの先生が発表されました。先生は、いつもにこにこして、とてもやさしそうな女のM先生でした。私もですが、同級生もみんな喜んでいました。先生はいつも笑顔でやさしく教えてくださいました。私にとっては母みたいに思え大好きでした。みんなからも人気がありました。

ある日、こんなことがありました。休み時間に、きれいにふかした黒板にいろいろな絵を書いて遊んでいました。その時、先生が教室にはいつて来られ、黒板の落書きをじーっと見ていらつしやいました。「いいよ、おこられる。」と思つて心配していません。ところが、「上手に書けたわね。消すのがもったいないくらい。絵を書きたいなら、後ろの黒板に書きなさいよ。」といわれ、いつもの笑顔で授業されたのです。本当にやさしい先生だなあと思ひ、ますます好きになったのです。

町の話題



宮村小児童が菊をプレゼント

お年寄りに觀賞してもらおうと、さきほど宮村小の児童が在宅老人デイ・サービスセンターを訪れ、丹精込めて育てた菊をプレゼントしました。



子ども相撲大会を開催

子ども会育成連絡協議会（会長 崎田幸忠）が主催する第二回子ども相撲大会は、十一月四日、中央公民館前の広場で盛大に開かれました。

大会には町内各単位の子ども会から団体戦に男子二十八チーム、女子二十五チーム、個人戦に男子百九十名、女子百八十八名が参加し、土俵四面に分かれて熱戦を繰り上げました。

結果（優勝のみ）は次のとおり。

◎団体戦

(男子) 梶山チーム
(女子) 宮村Cチーム

◎個人戦

(男子) 中原寛幸 園田美和
二年生 森 和也 篠宮麻美
三年生 栗丸新吾 宮内留理子
四年生 大村孝一 柿恵利香
五年生 本村孝二 木佐貫恵
六年生 畑中健吾 森 朋子

ハイキング大会に832名が参加

「文化の日」の十一月三日、恒例のハイキング大会が開催され、町内外の家族連れなど八百三十二名が行楽の秋を満喫しました。

ハイキング大会は、町民とのふれあいの場をつくろうと町職労青年部・婦人部が毎年行っているもの。今年の大大会は、三股橋上流の河川敷公園をスタート・ゴールとする十キロメートルのAコースと、五キロメートルのBコースが設定され、三股町の美しい自然を楽しみながら全員が完歩しました。

昼食後は、ルーレットゲームやジュース・ビールの早のみ競争、アイス・ノックイズ、豪華賞品の当たる抽選会などが行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしていました。

行楽の秋を満喫



牛肉枝肉共助会で好成績

第三回町内牛肉枝肉共助会は十一月九日、末吉町の南九州興業㈱で開かれ、出場した三十一頭中、五頭が五等級、十八頭が四等級に選ばれました。

また、先ほど名古屋で開かれた共助会には本町から十四頭を出荷し、四等級以上に十二頭（うち九頭六四・三％は五等級）が選ばれ好成績を納めました。

牛肉の輸入自由化が来年四月に迫っており、高級牛肉の生産に向けて、今後さらに各農家の努力が

期待されています。

なお優秀賞（五等級）は次のとおりでした。

- ◎第三回共助会
 - 福水 昇(蓼池) 福水健一(蓼池)
 - 大盛聖護(中米) 鈴木兼雄(梶山)
 - ◎名古屋共助会
 - 蔵元明典(樺田) 福水健一(蓼池)
 - 大盛聖護(中米) 長倉文翁(梶山)
 - 黒木孝光(梶山) 馬渡芳文(寺柱)
 - 福水広文(蓼池) 森 繁春(蓼池)
 - 別納軍一(田上)

高齢者のための美容教室

高齢者のための美容教室が十一月八日、デイ・サービスセンターで開かれ、七、八十代の女性二十一名が肌の手入れなど化粧に挑戦しました。

これは進展する高齢化社会の中、高齢者の社会性の向上を図るために美意識



7、80代の女性21名が化粧に挑戦

の向上、身だしなみが必要と資生堂都城営業所の協力のもとに行ったものです。

教室では最高齢者の児玉ミツエさん（八十七歳、上新）をモデルに、ビューティコンサルタントから肌の手入れや口紅のつけ方などの説明があった後、全員が真剣な面持ちで化粧に取り組んでいました。



健やかな成長を！

赤ちゃん土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈願する土俵入りが十一月四日、宮村の御年神社で行われました。

赤ちゃんの土俵入りは、同神社の秋祭りを盛り上げようと二年前に始められたもので、今年が町内外から赤ちゃん二十名以上が参加。かつて青年団相撲で勇名をとどろかせた山元秀一郎さん（53）ら三名の力士に一人ずつ抱かれて土俵入りを行い、見物人の祝福を受けていました。

第42回人権週間 12月4～10日

おしらせ



こんな時には

人権擁護委員に

人権が侵されたり、侵されるおそれがあるとき、いじめや体罰その他家庭内の問題、借地、借家、登記、金銭消費貸借問題などでお困りの方は、お近くの人権擁護委員に気軽にご相談ください。
なお相談は無料、秘密は固く守られます。

◎三股町の人権擁護委員
大字榊山四二八番地
桑畑 愿 五二一五二九九
大字榊山四四三番地七
草留千枝子 五二一四〇九九

今月の納税
固定資産税3期

税金は滞納しないよう
早めに納入しましょう。

大字藁池一四七六番地
福重 美義 五二一〇九〇
大字宮村一四九番地二
隈元 喜一 五二一四〇二九
とき 十二月七日(金)
午前十時～午後三時
三股町老人福祉センター

無料人権相談所

45歳以上の労働者の方へ

「自己啓発に奨励金」

資格取得、専門知識の習得のために勉強される方は、雇用促進事業団から中高年齢労働者受講奨励金が受けられます。

◎対象者

四十五歳以上の雇用保険被保険者で、自分で入学科や受講料を負担し、労働大臣が指定する教育訓練を受講し、修了した人。

◎支給額

・五十歳以上の方は支払った額の二分の一(限度額十万円)
・四十五～四十九歳は支払った額の四分の一(限度額五万円)
※手続きその他詳細については、宮崎雇用促進センター
(☎〇九八五二二一〇七七七)

愛の献血



次のおり献血にご協力いただきました。誠にありがとうございます。

◎十月十五日

愛の「ご寄付」

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきました。誠にありがとうございます。

平成二十年十月一日から
平成二十年十月三十一日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
森田 輝子	夫	辰男	63山王原	三万円
谷口 アチミ	夫	朋枝	75中原	五千円
竹原 セチ子	兄内村	夫	80森木	一万円
中西 ツキミ	夫	正三	74上米	三万円
原口 利子	夫	秀則	71上米	五万円
下石 武人	夫	正和	70谷	三万円
馬渡 アミ子	父	好和	70原	二万円
南 佐世	母	フミ	81東原	二万円
飯屋方丸	夫	正雄	75田上	三万円

自衛官募集

自衛官(二等陸・海・空士)を募集しています。

詳しくは役場総務課、または自衛隊宮崎地方連絡部都城募集事務所(☎二三一三九四四)まで。

役場(来庁者含む) 八十三名
今後とも皆様のあたたかい協力
をよろしく願います。

三股町の人口

平成2年11月1日現在
男 9,940人 出生 22人
女 11,107人 死亡 21人
計 21,047人 転入 116人
前月比+38人 転出 79人
世帯数 6,851戸

国勢調査より10月1日現在の人口を
21,009人として計算しています。

桑畑 雅博	母	ナカ	82山王原	五万円
岩波 フミヲ	夫	重雄	84前目	二万円
尾玉 未正	妻	明ツ	74東原	二万円
上村 ハツエ	夫	朝行	77森木	二万円
立山 正一	母	スエ	89勝岡	三万円
團田 アキ	夫	義雄	80榊山	二万円
下牧 恵子	夫	秀義	76仲町	二万円
川越 庄助	母	ハツ	77飯屋	二万円
柳田 了母	トシ	76前目	四万円	
東村 和往	祖母	カル	91寺柱	五万円

※国勢調査の最終結果によっては、変更されることがあります。